第四回アイクリエイト　開催報告レポート

2018.11.23　大山田コミュニティプラザ（桑名市）

私たちのまわりには、地域社会に変化を与えている積極的・魅力的な女性が数多く活動しています。また、これから輝き始める人達もたくさんいるでしょう。

「アイクリエイト」は、そんな女性達が出会い、学び、チャンスを生み出すきっかけになる場として、2014 年に母達のボランティアでスタートしました。

「第四回アイクリエイト」（主催：桑名女性ネットワーク）では、この度桑名市様の協力により「桑名で輝く女性応援シンポジウム」（主催：桑名市/働き方改革・女性活躍推進室）を同時開催することができました。

会場では、約 50 の女性達による出展ブース、約 700 名の来場者数、過去最高の集客となり盛況に開催することができました。

■「桑名で輝く女性シンポジウム」は、くわなの女性達の未来をつくる起点となる

「桑名で輝く女性応援シンポジウム」では、伊藤なるたか桑名市長も登壇し、桑名在住で起業し活躍する女性達をはじめ、桑名出身で現・山梨県副知事の柵木環氏が、自らが歩んできた働き方、家庭との両立のあり方、これからの女性の働き方等についてトークセッションが交わされました。

はじめに、伊藤市長により、全国統計と比較して、桑名市は女性が働くことを後押しする風潮があり、自己実現のためにビジネスをツールとする女性が多い、といった特徴が紹介されました。

都会の働き方、土地の安い（生活しやすい）地域の働き方が大きく違うことが、今の桑名の女性達の働き方の特性とつながっていること、また、組織の中で「女性の活躍」を急速に進める道筋に、上司となる女性を育てる準備が必要であることもあげられました。

おうち起業から行列のできるお店を自宅につくられた、「Happy Muffin」店主／小山千夏さんのお話しでは、家族のサポートと共に、自分で可能な時間をいかし、SNS を上手く活用した広報で人気を博した話をうかがえました。

山梨県副知事・柵木環さんの、農水相の数少ない女性職員として、3 人の子供をベビーシッターを利用しながら育て、フル稼働で働き続けたパワー漲るお話し。

乳児を抱えながら勉学に励み、士業を職とした大橋真由美さん。

そして、コーディネーターには、コーチング普及の先駆けとして活動されてきた稲垣陽子さんが、なぜこうした女性達が活躍できるのか、を話に含ませながら会場からの質問も含め語り合いました。

■桑名では、多くの女性達が「新しい働き方」を生み出そうとしている

2000 年前後の取材から、桑名には、経験・技術・好きなことをいかして独自の活動やスモールビジネスを行い、地域に賑いや新しい文化を生み出している女性が非常に多く存在していることがわかっています。

桑名市は、名古屋のベッドタウンとして新興団地が勢いよく拡張し続けていること。可処分所得が比較的高い世帯が多いことで、結婚・出産後も自分の可能性を追求する女性が多く、女性の社会進出・活躍・働き方改革との時代もマッチして、「女性の自分らしい新しい働き方」を生み出す土壌があること。

山、川、田園といった自然も豊かであり、郊外型の利便性も備えているため、子育てをしやすい地域である、若いファミリー層が定着していると考えられます。

生活の満足度が上がることで、地域の人達とのつながりも豊かになり、新しいコミュニティが生まれ、人々が自分らしい活動を草の根的に起こし活動し、地域文化となりつつあるのかもしれません。

約 20 年で、極めて多くの女性達の活動が生まれた潜在力こそが、桑名市の独自性、新しい文化なのです。

■「アイクリエイト」とは

「アイクリエイト」は、マルシェに見えがちですが、実は違います。自らの活動・スモールビジネスを地域の人達に体験してもらい、PR する場として開催しています。

マルシェのように当日の利益のみを追求するものではなく、自らの活動の土台作り、顧客開拓の場、ロールモデルとの出会いの場となるもの。つまり、「わたしの地域に市場を作る場」として開催してきました。

特に、ブース出展者同士のつながりは、新しい活動や仕事につながることが多く、「来場したお客さんが新しい顧客へとつながった」「企業との新しいビジネスができた」という声は、過去、数多く上がってきました。

これから新しいスタートを切ろうと考えている女性達には、「どうすれば、より多くのお客さんが得られるのか」「何が消費者にアイキャッチとなり魅力となるのか」「事前にどう広報することが集客やファンを増やすことにつながるのか」など、新しい学びに満ちています。

一方、来場した女性達（お母さん達）、子供達は、ずらりと並んだ約 50 ものブース出展者の女性達に刺激を受けることになります。

ブースで体験するワークショップや制作物のクオリティの高さ、抜き出たセンス、ビジネス感覚、サービスや交流の手法。同じ母親として、そのパワーや情熱に圧倒さ

れます。
　特に、赤ちゃん連れの若いお母さん達の大半は、これからの自らの未来が専業主婦だけではないことを前提にライフプランを考えている女性が多いでしょう。子育てをしながらも、将来、何かしらの可能性を模索しながら過ごしている方も多く、何かヒントになるものを…と、今回は、ベビーカーを押すお母さん達の来場が多くみられました。

■今回の「第四回アイクリエイト」で注目すべき点

これまで開催してきたアイクリエイトから、大きな変化を感じた点がありました。

●SNS の活用頻度が高く、各出展者からの SNS 拡散力が大きかった。
●男性（お父さん）の来場が多かった。
●赤ちゃん連れのお母さんが多かった。
●出展ブースの、ワークショップや販売品のクオリティ、センスが非常に高いものが並んだ。
●桑名市外に在住だが、“桑名で頻繁に活動する“女性達の出展が増えた。

「アイクリエイト」は、地域の女性達の多様な社会参画を互いに応援し、支え合う活動であり、「自分らしい新しい働き方」を見つけるためのステップアップの場でもあります。
　社会進出が推し進められているものの、女性は依然として弱い立場になりがちであり、地域の中にいくつもの繋がりを持つこと、良いときも悪い時も支え合える繋がり（ネットワーク）を築くことが重要です。

「働き方改革」は、まずは、企業・組織に勤める人達を対象に推進されてきました。女性においては、女性へ役職を与えることから変革を進められてきました。女性の能力を認め、道すじを築き、女性の労働力を活かすためには必然であるでしょう。

　一方で、一旦会社勤めから離れた女性達には、時代に沿って、ゆっくりと新しい働き方が浸透してきてきました。パート勤務や在宅勤務など、時間や環境に融通のきく働き方に、新しいスタイルが登場しました。
　「おうち起業」とよばれる、経験や技能、好きなことを活かし、自分の時間や環境を調整できる範囲で、自分の仕事を生み出すものです。

　「おうち起業」も、自宅や各所で教室やサービスを提供するスモールビジネスを行う女性が圧倒的に多く、広報はＷＥＢやＳＮＳが使われてきました。
　昨今はマルシェブームから、イベントに出展する女性が多く、手づくりの制作物を販売する女性が多くみられます。しかし、同様の制作物が並ぶことも多く、いかに手頃な値段で魅力的なものを作り出せるかのしのぎあいの場でもあります。
　マルシェなどへ出店することのできない人達は、スマホアプリの中で、写真映えさせてネット販売する女性も多く、その収益がパート以上に及ぶ子育て中の女性も、（桑名には）少なくありません。

アイクリエイト参加ブースの変遷を見てわかることに、**成功している「お家起業」は、「絶大な家族サポートがあること」が大きい**と言えます。

これは、親族や昔なじみの友人が近くに暮らす、地域ゆえの特権であり良さであります。お母さんの仕事を、おばあちゃん、小学生・中学生の子供達が手伝う姿があり、かつての家内作業的なシーンが見られます。

売れている商品は、画一的なものではなく、こだわりがあり、センス良く、美味しい、または魅力あるもので、行列のできる程オリジナル商品が多い。

また、彼女たちは、数人でチームとなって展開していることが多く、母親同士の支え合いの力によって、スモールビジネスを広めています。

彼らの最大の特徴は、IT を女性らしく最大限に上手く活用していることです。パソコンや最新ソフトをフル活用する、といったものではなく、手描きや手作りのものをスマホを利用して上手く広報ツールにする術は、やわらかさ、やさしさ、和みを大切にする女性の特性をいかした、「アナログ＋IT」の広報となっており、それを真似た手法で展開する女性達が生まれています。

「アイクリエイト」から、ロールモデルとなる女性がみえてくるのです。

■地域の中に小さな経済の循環がうまれている

ロールモデルとなる女性たちは、勢力的であり行動力に満ちています。消費者の飽きやすさ、移り気なことも熟知しているため、常に新しいアイデアを盛り込んだものを提供します。その告知も、タイムリーに広く伝えられる SNS 手法を活用。写真映えする商品ほど、その反応は大きく、ファンも増えてゆく。

新しいスモールビジネスは、女性達から生まれ、女性達が生み出した商品が、地域の中で消費されるところからスタートしています。

ここに、「**地域の中に小さな経済が生まれている**」ことは、とりわけ注目すべきことでしょう。

「第四回アイクリエイト」では、女性のスモールビジネスだけではなく、シングルマザーの自立支援や、乳がん撲滅運動、障害を持つ人達との協労、乳幼児の子育て支援、外国人就労、都会からの移住者自立などの**社会活動を行う女性達**のブース参加も目立ちました。

女性・母親だからこそ、大変な時や弱い立場にある人達を支え合いたいという想いが各所に見られ、女性の社会進出、女性の活躍というものが、「**多様性**」に富み、一様ではないことがわかります。

外国人の就労

障害者の就労

乳幼児子育て支援

癌患者による活動

山梨県の産品展示

シンポジウムに参加いただいた、山梨県副知事のご協力もいただき、山梨の魅力ある産品を展示したブースも並びました。

女性が惹かれる、果物の王国であり、お酒、ワインの一大産地であり、宝石の産地であること。

また、傘の生地を使って新しいデザイン商品を展開されている地場企業「槇田商店」さんにご協力をいただき、自らの地域の資源とデザイン力をいかし、魅力ある「良質な商品」を生み出す力と、斬新なアイデアに、多くの女性達が刺激を受けました。

また今回より、女性の生活に関わりある事業を行う地元の企業様もブースを出展することになり、女性だけで準備運営してきたアイクリエイトに、男性の力が多数加わり、大きなサポート力となっていただきました。

男性と女性の共生のあり方も、変化を遂げていることを、アイクリエイトの回を重ねるごとに感じさせられてきました。

三重の木材で箸つくり体験

市長さんによる視察

親子が楽しめるワークショップ

アイクリエイトは、地域のお母さん達のボランティアにより、準備・開催・運営されてきました。

また、企業様の多大なるご協力によって、アイクリエイトをより魅力あるものに盛り立てていただいてまいりました。今回、桑名市との共催として開催することにより、新しい意義や方向性を築くことができました。

変化の著しいこの時代において、社会の新しい変化に対応できる柔軟性をもって生きる「自分」を築いていくことは、新しいことへ挑戦できる力を備えることになります。また、何かに挑戦したり、思い悩んだりするときには、地域の中へ繋がり広げておくことが重要になります。

「アイクリエイト」は、自らの新しい活動の展開、ロールモデルとの出会い、情報交流の場の広がりを築く良き機会となり、女性達に可能性や自信を与えるきっかけとなってきました。

「アイクリエイト」から多くのつながりが生まれてきたことで、活動や仕事の上での支え合いの裾野が広がり、さらには自分のリスク対応に繋がっていることを、多くの女性達が感じ取ってきたはずです。

この結果をふまえ、桑名女性ネットワークでは、地域の女性達がさらに「自分らしく活躍」できる地域文化を築くために、今後も本活動を継承してゆきます。

多様な生き方を選択できる時代へ向かっていることを追い風に、地域の中により多くのつながりをもち、仲間をつくり、支え合える地域の人達と共に前へ進んでゆきます。

第５回アイクリエイトの開催にむけ、時代と共に急速に変化する社会の中で、働き方を変えることで自分らしく生き、本当の意味で「女性が輝ける社会」へつながることを実証してゆきたいと考えています。

インスタグラムより

「第四回アイクリエイト」開催において、多大なご協力をいただいた企業の皆さま、山梨県・山梨県の企業の方々、桑名市・地域の皆さま、によるサポートとご協力をいただきました。

事務局一同、心よりお礼申し上げます。

桑名女性ネットワーク　代表　水谷美保

2018 年 12 月 1 日

■来場者アンケートの結果　（大人の女性のみ/回収数 200）　（一部紹介）

◎あなたもスキルや経験をいかして、何か自分の活動をしたいですか？

将来トライしたい 46% ／ 予定している 2% ／ 既に行っている 10% ／ いいえ 42%

◎来場（女性）年齢層　（大人のみ）

20 代　10% ／　30 代　50% ／　40 代　30%

◎アイクリエイトへ来場してどうだったか？　／　よかった　99%

◎良かったブース　　／　　回答より　→　制作系のワークショップが圧倒的な人気

◎ご意見・ご要望　　／　　飲食販売を増やしてほしいとの要望が高い

■ブース出展者のアンケート結果　（一部紹介）

◎アイクリエイトに参加してよかったこと

〇色んな人との繋がりができた。出展者同士の繋がりができた。

〇たくさんの人に（自分達の事業や活動を）知っていただくことができた。

〇刺激を受けた。勉強となることが多かった。励みになった。